

2025年3月期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2025年5月14日

1. 2025年3月期 決算	2
2. 2026年3月期 業績予想・配当予想	21
3. トピックス	26

2025年3月期 決算

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		タカマツハウス不動産	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2025年3月期 業績推移

(億円)

項目	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	増減率
受注高	3,128	3,376	3,259	↑ 3,913	+20.1%
売上高	2,639	2,824	3,126	↑ 3,466	+10.9%
売上総利益	385	420	430	↑ 446	+3.7%
売上総利益率	14.6%	14.9%	13.8%	↓ 12.9%	△0.9pt
営業利益	112	120	116	↓ 114	△1.6%
営業利益率	4.3%	4.3%	3.7%	↓ 3.3%	△0.4pt
経常利益	114	117	113	↓ 106	△6.1%
経常利益率	4.4%	4.2%	3.6%	↓ 3.1%	△0.5pt
親会社株主帰属 当期純利益	67	75	91	↓ 64	△29.6%
当期純利益率	2.5%	2.7%	2.9%	↓ 1.9%	△1.0pt

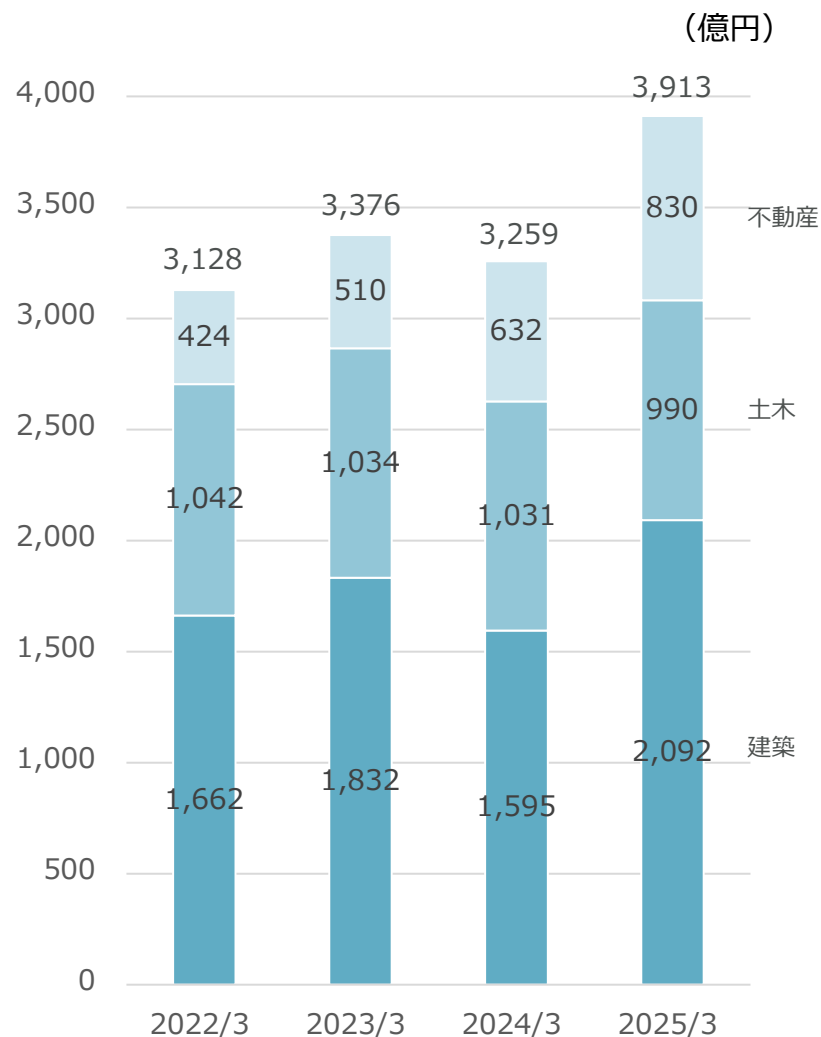
2025年3月期 業績のポイント

2025年3月期 業績	受注高	受注高は前期比+20.1%。 高松建設、青木あすなろ建設をはじめとする建築セグメントと、タカマツハウス、高松エステートなどの不動産セグメントが牽引。 計画比では、期初計画の3,900億円は達成したが、2024年11月に開示した修正発表値の4,000億円に対しては微減で3,913億円の着地。建築セグメントが好調であった一方、土木セグメントが想定よりも伸び悩んだことが要因。
	売上高	売上高は前期比+10.9%。 計画比では、期初計画の3,500億円に対し、わずかに届かず3,466億円の着地。 建築セグメントの一部工事における出来高不足が要因。
	営業利益	営業利益は前期比△1.6%。 建築セグメントにおける大型案件の採算悪化のほか、特殊土木工事における受注不振が影響し、期初計画150億円から2024年11月に130億円へ下方修正。また、建築セグメントの一部工事において、設計変更および資機材価格、労務費の高騰等による建設コスト増加の負担に関して、発注者との協議が難航していることにより、114億円の着地。
株主還元		親会社株主帰属当期純利益は、期初計画の80億円から64億円に低下したが、配当は期初計画どおり1株あたり82円。 配当性向は44.2%。

セグメント別 受注高

- ◆ 建築は高松建設と青木あすなろ建設の増加により前期比+31.2%と大幅増。土木は前期比△4.0%。不動産は主にタカマツハウスの増加により前期比+31.4%と大幅増。

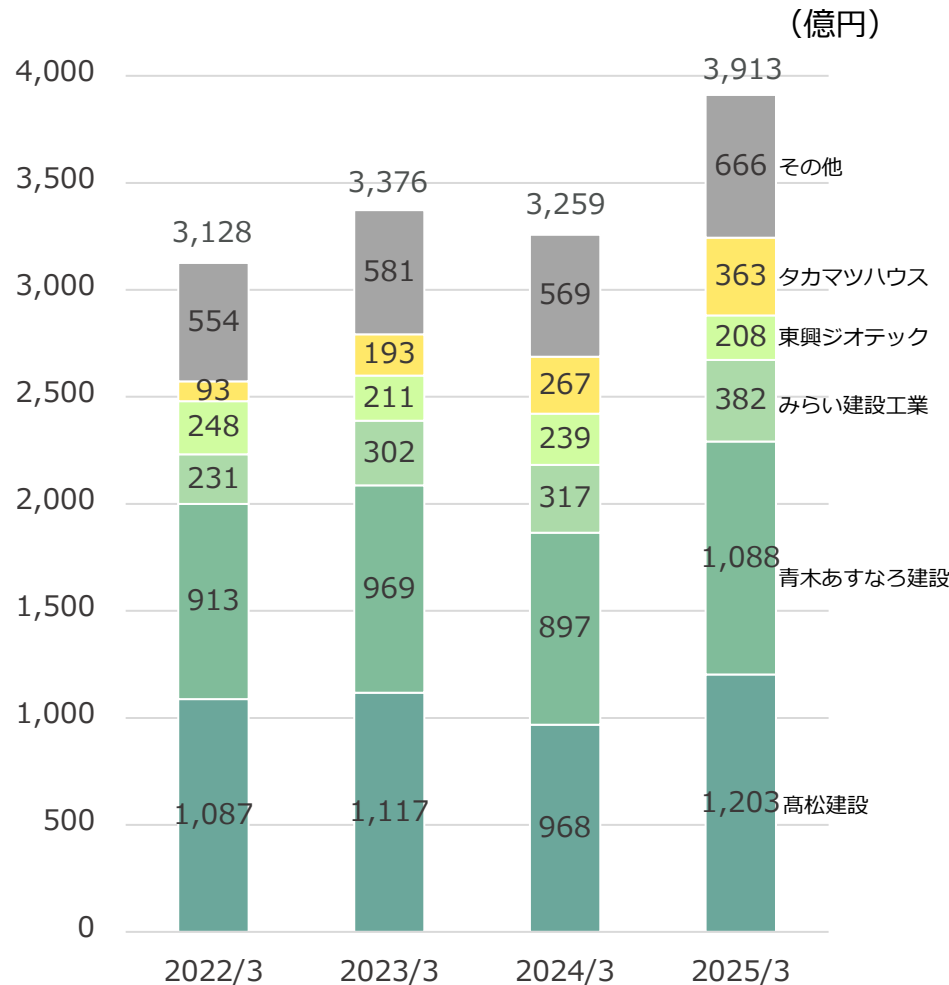
セグメント別	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
建築	166,206	183,241	159,570	209,298
土木	104,235	103,438	103,114	99,008
不動産	42,447	51,000	63,229	83,070
連結合計	312,889	337,680	325,914	391,378



中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は案件の大型化により前期比+24.3%。青木あすなろ建設は建築で好調に推移し前期比+21.3%。みらい建設工業は大型案件受注もあり前期比+20.8%。東興ジオテックは大型案件の受注時期が後ろ倒しになったこと等により前期比△12.9%。タカマツハウスは前期比+36.1%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は主に高松エステートで増加し前期比+17.1%。

会社別	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
高松建設 (単体)	108,721	111,702	96,831	120,355
青木あすなろ 建設 (単体)	91,386	96,961	89,755	108,845
みらい 建設工業 (単体)	23,194	30,264	31,702	38,294
東興 ジオテック (単体)	24,810	21,188	23,988	20,887
タカマツ ハウス (単体)	9,309	19,366	26,724	36,363
その他 (含連結調整)	55,469	58,199	56,914	66,634
連結合計	312,889	337,680	325,914	391,378



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 高松建設は受注高の大幅な増加により前期比+10.2%。青木あすなろ建設は建築で受注高が増加し前期比+10.2%。みらい建設工業は受注高の増加により前期比+19.4%。東興ジオテックは前期比△1.7%。タカマツハウスは受注高の増加により前期比+41.4%と大幅増。連結合計で前期比+10.2%となった。

(百万円)

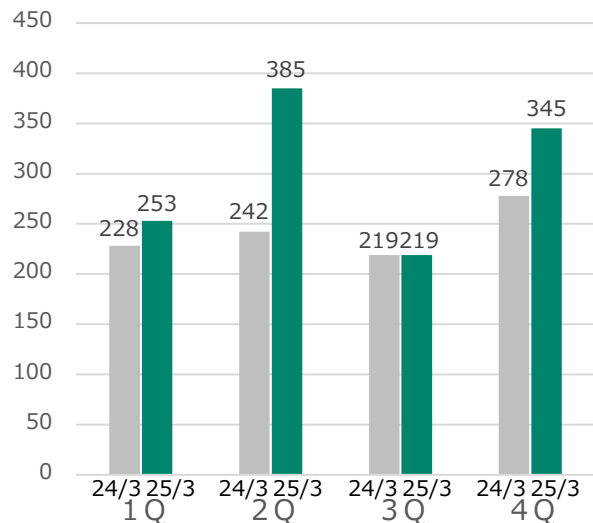
会社別		2024/3	2025/3	増減額	増減率
高松建設 (単体)		207,786	229,051	↑ 21,265	+10.2%
青木あすなろ建設 (単体)	建築	91,273	116,380	↑ 25,107	+27.5%
	土木	70,051	61,329	↓ △8,722	△12.5%
	合計	161,325	177,710	↑ 16,385	+10.2%
みらい建設工業 (単体)		33,290	39,757	↑ 6,467	+19.4%
東興ジオテック (単体)		13,183	12,956	↓ △227	△1.7%
タカマツハウス (単体)		2,497	3,531	↑ 1,034	+41.4%
その他 (含連結調整)		18,304	18,073	↓ △231	△1.3%
連結合計		436,385	481,078	↑ 44,692	+10.2%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

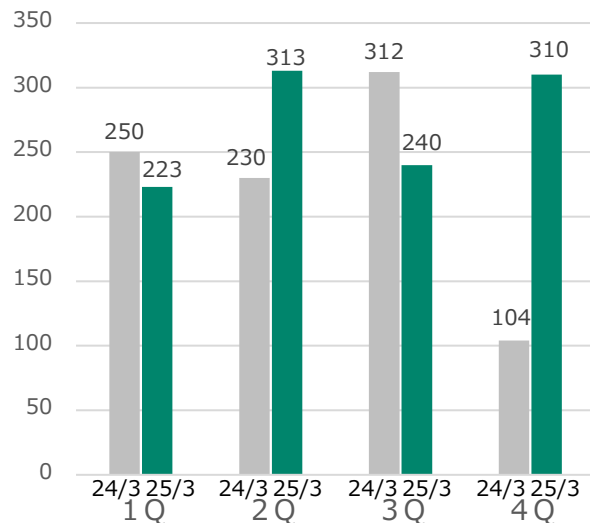
中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

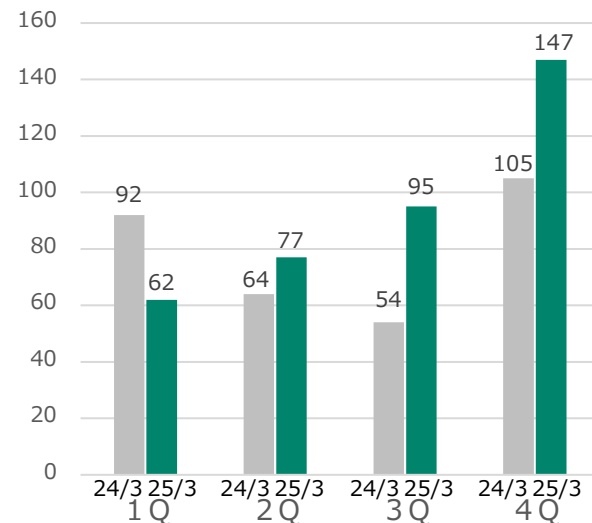
高松建設



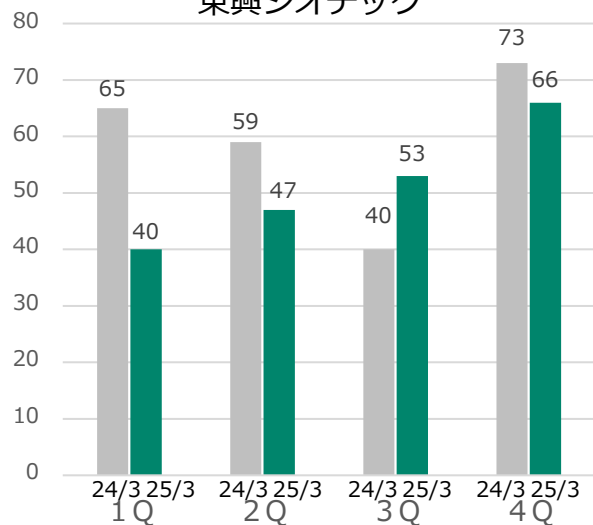
青木あすなろ建設



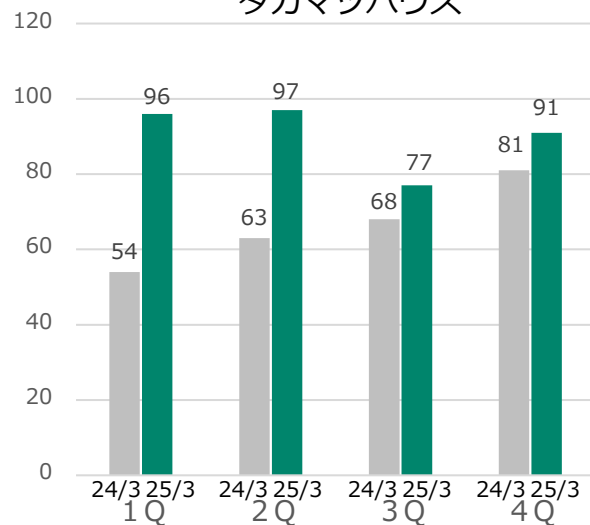
みらい建設工業 (億円)



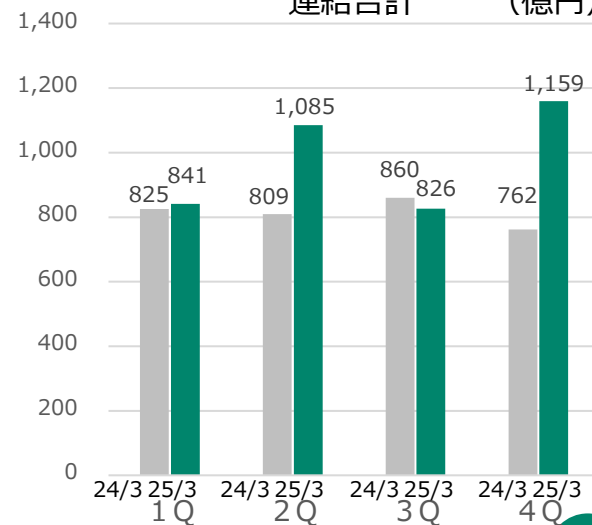
東興ジオテック



タカマツハウス



連結合計 (億円)



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

高松建設 セグメント別受注高

- ◆ 大阪・東京ともに賃貸マンション建築は前期の受注高を上回り、高松建設全体で前期比約152億円増加した。
- ◆ 一般建築は、大阪で前期比約32億円減少も東京で前期比約88億円の増加となり、高松建設全体では約55億円増加した。
- ◆ 不動産の内訳は、販売用不動産および分譲マンションの合計受注高。前期比約27億円の増加となった。

セグメント別 受注高 (百万円)

		大阪				東京			
		2024/3	構成比	2025/3	構成比	2024/3	構成比	2025/3	構成比
建 築	賃貸 マンション	7,083	16.3%	13,447	27.4%	29,989	56.3%	38,874	54.5%
	一般建築	35,447	81.4%	32,152	65.5%	17,471	32.8%	26,329	36.9%
不動産		1,023	2.3%	3,471	7.1%	5,819	10.9%	6,082	8.5%
合計		43,553	100%	49,070	100%	53,279	100%	71,285	100%

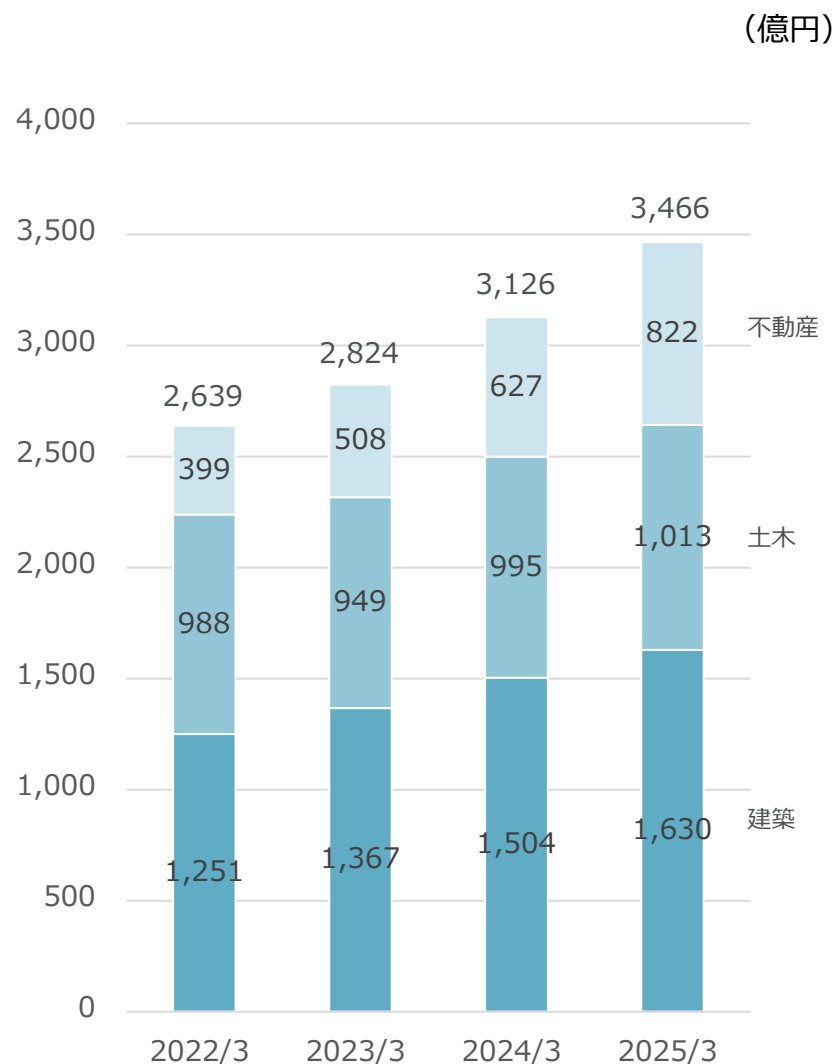
※数値はグループ会社間取引を含む。
※構成比は小数点以下第二位四捨五入

セグメント別 売上高

◆ 建築は前期比+8.4%。土木は前期比+1.8%。不動産は主にタカマツハウスで増加し前期比+31.1%。

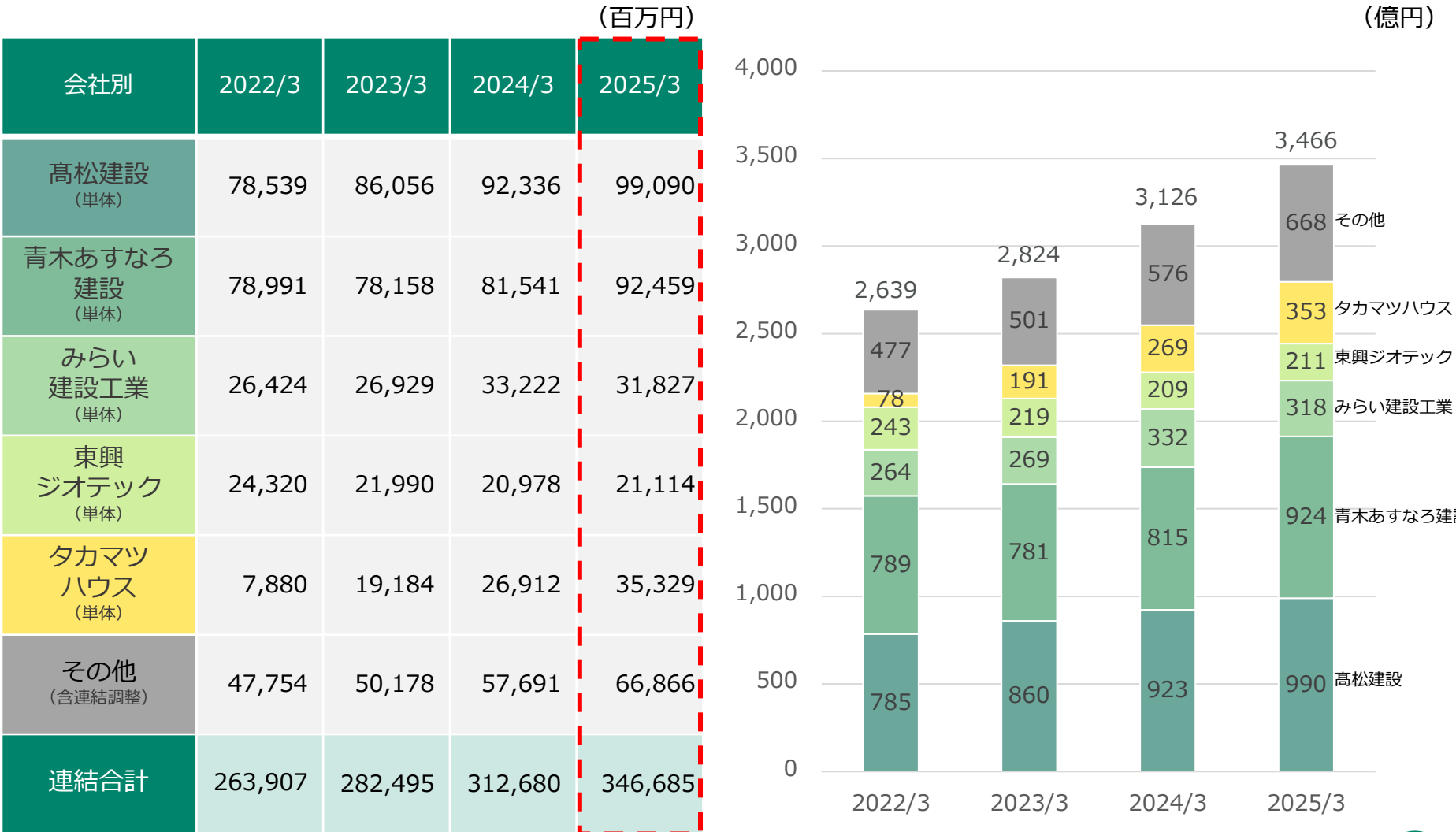
セグメント別	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
建築	125,136	136,774	150,403	163,044
土木	98,826	94,902	99,559	101,399
不動産	39,944	50,818	62,716	82,241
連結合計	263,907	282,495	312,680	346,685

(百万円)



中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前期比+7.3%。青木あすなろ建設は繰越工事が順調に進捗し前期比+13.4%。みらい建設工業は前期比△4.2%。東興ジオテックは前期比+0.6%。タカマツハウスは着実に成長し前期比+31.3%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は主に高松エステートで増加し前期比+15.9%。



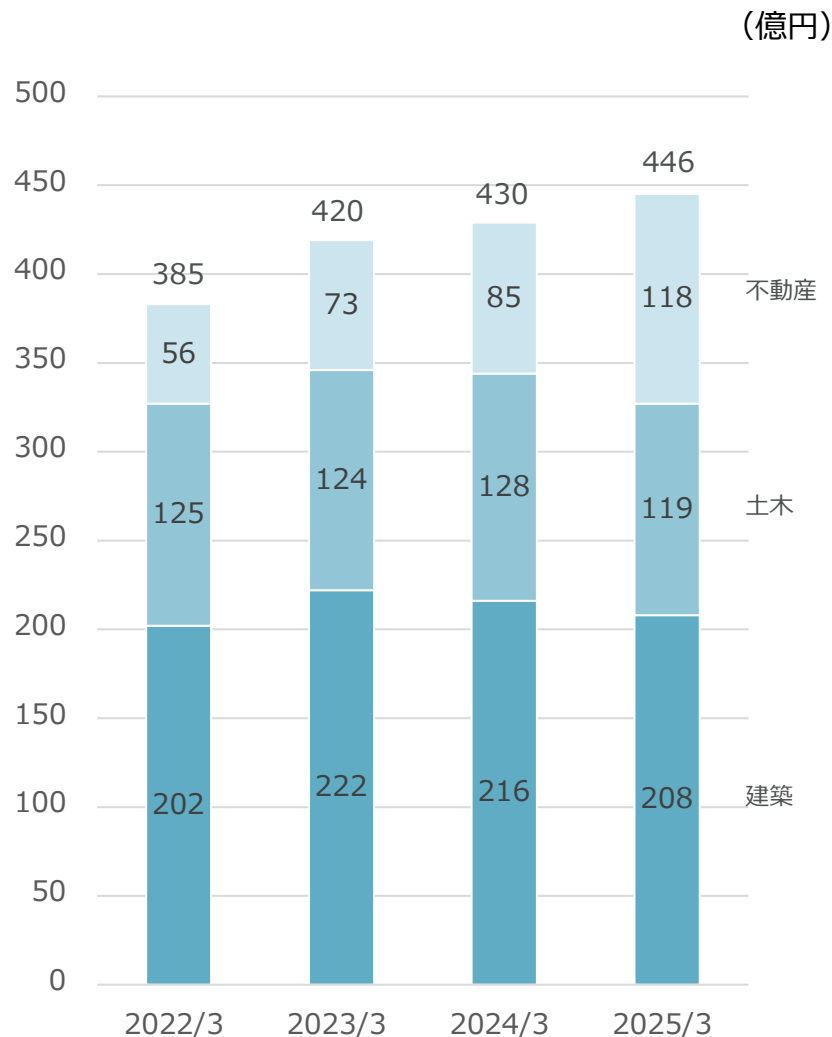
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 売上総利益

◆ 建築は前期比△3.8%。土木は前期比△6.9%。不動産は高松建設、タカマツハウス、高松エステートで増加し前期比+38.3%と大幅増。

セグメント別	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
建築	20,289	22,232	21,614	20,800
土木	12,536	12,488	12,884	11,998
不動産	5,654	7,301	8,552	11,827
連結合計	38,542	42,022	43,052	44,626

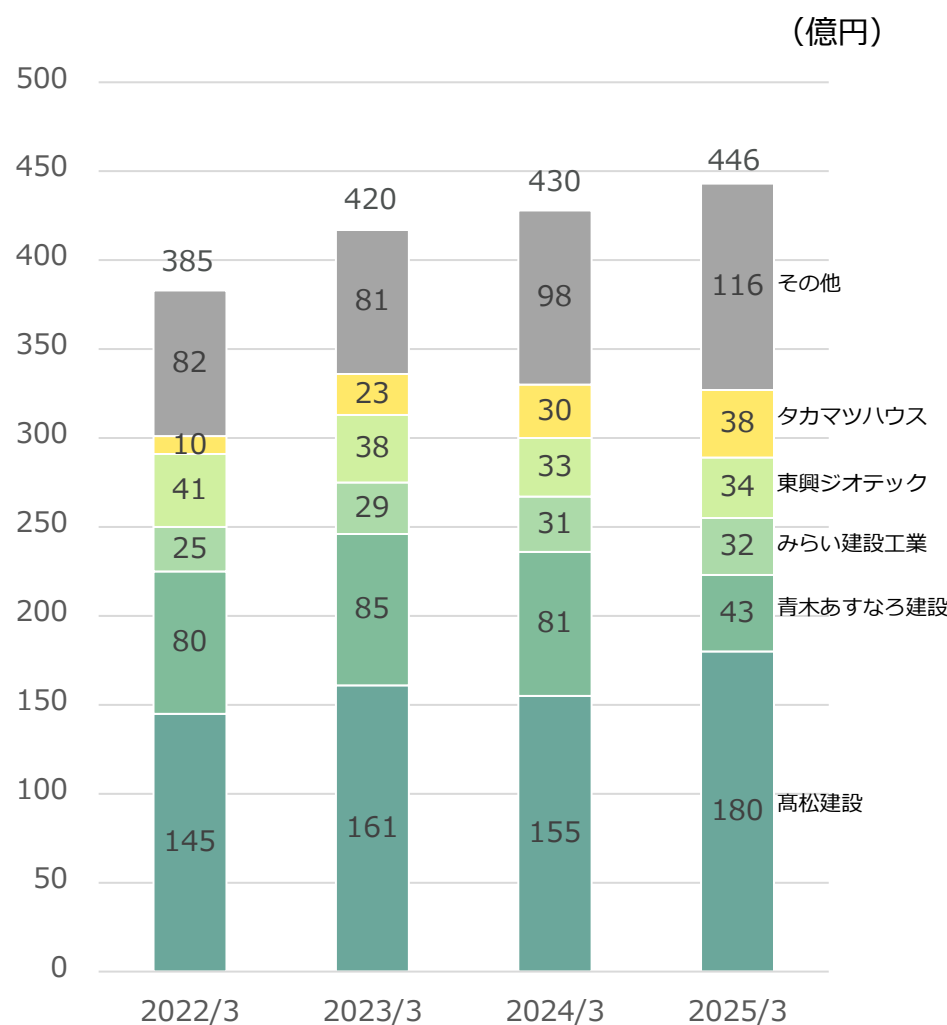
(百万円)



中核事業会社別 売上総利益

- ◆ 高松建設は売上高の増加および売上総利益率の上昇により前期比+16.5%。青木あすなる建設は主に建築で大幅に減少し前期比△46.2%と大幅減。みらい建設工業は前期比+3.5%。東興ジオテックは前期比+1.2%。タカマツハウスは売上高の増加により前期比+27.0%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は主に高松エステートで増加し、前期比+18.5%。

会社別	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
高松建設 (単体)	14,541	16,169	15,509	18,065
青木あすなる 建設 (単体)	8,033	8,501	8,160	4,392
みらい 建設工業 (単体)	2,580	2,967	3,186	3,297
東興 ジオテック (単体)	4,118	3,844	3,369	3,410
タカマツ ハウス (単体)	1,038	2,389	3,026	3,844
その他 (含連結調整)	8,234	8,152	9,802	11,618
連結合計	38,542	42,022	43,052	44,626

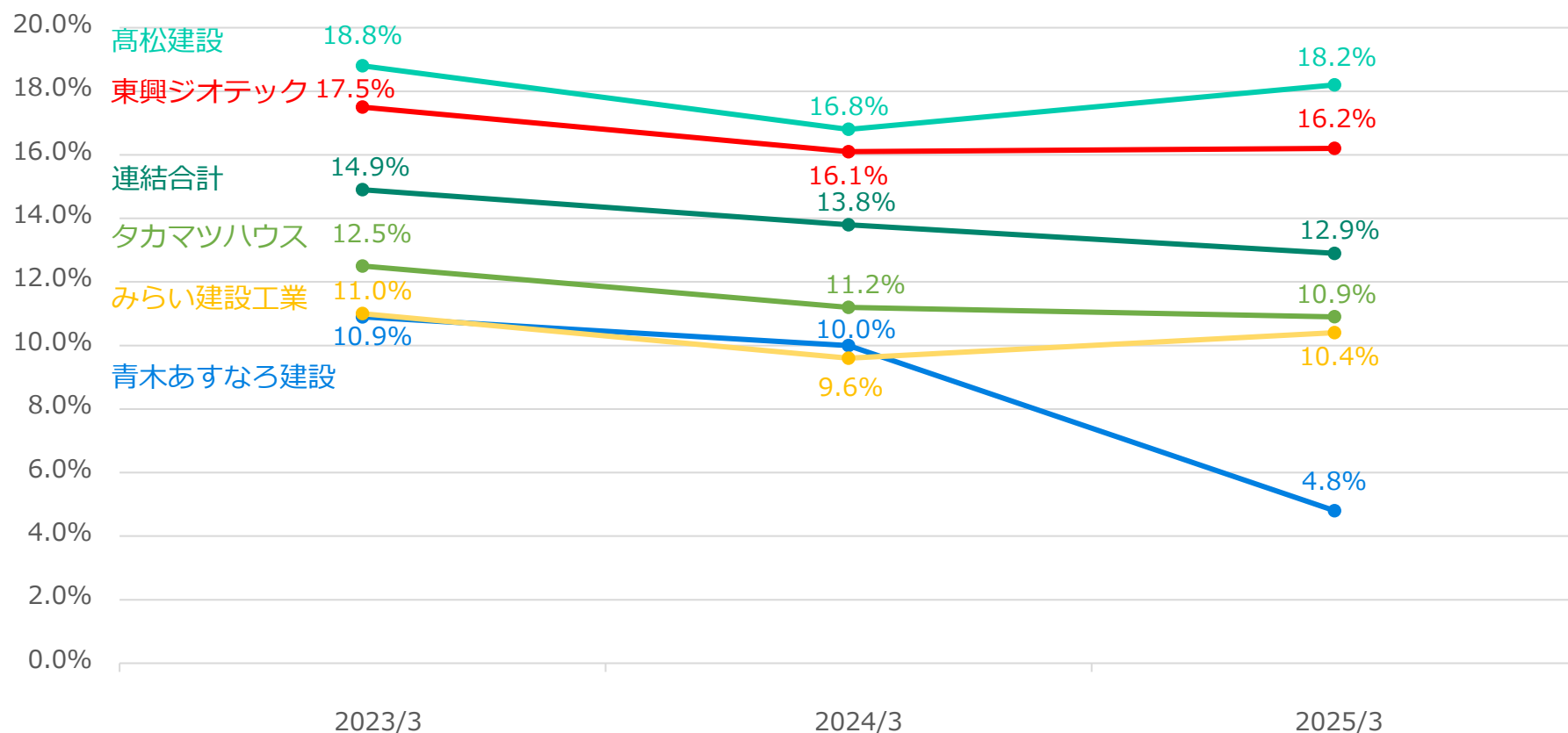


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の売上総利益率

- ◆ 高松建設は売上高の増加により前期比+1.4pt。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上高は増加したものの売上総利益額が減少し前期比△5.2ptと大幅に低下。
- ◆ みらい建設工業は前期比+0.8pt。
- ◆ 東興ジオテックは前期比+0.1pt。
- ◆ タカマツハウスは前期比△0.3pt。



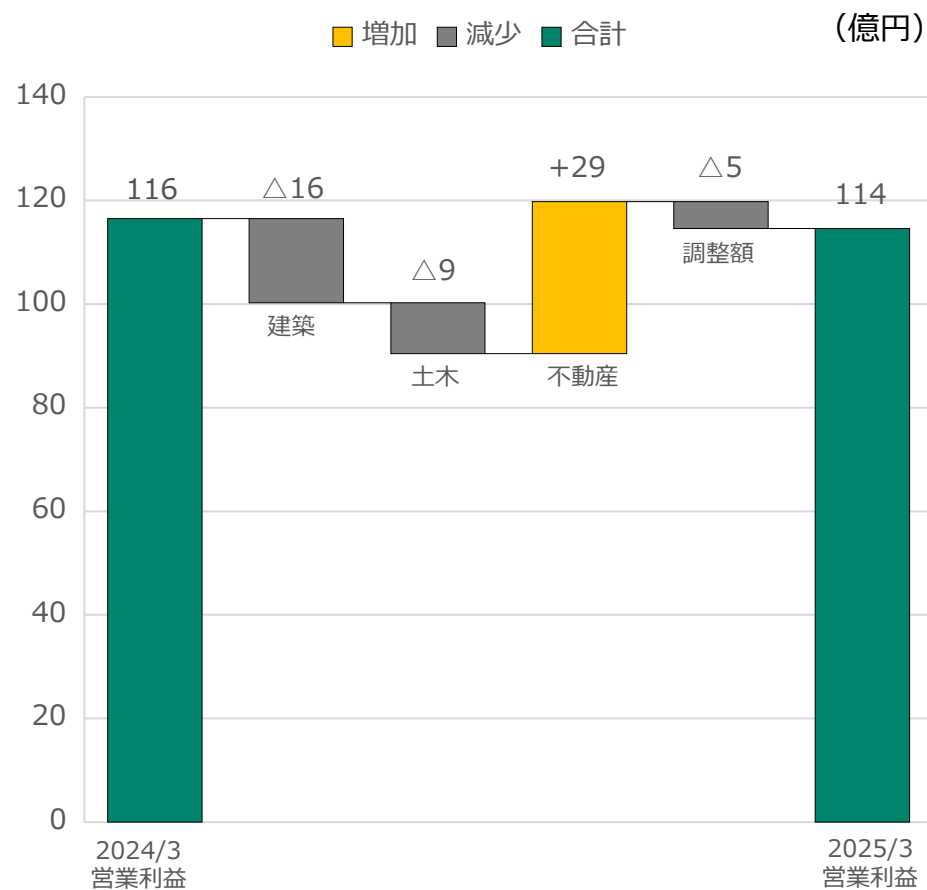
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 営業利益

- ◆ 建築は青木あすなろ建設で大幅に減少し、前期比△30.0%。土木は青木あすなろ建設、東興ジオテックで減少し前期比△14.4%。不動産は高松建設、タカマツハウス、高松エステートで増加し前期比+69.0%と大幅増。

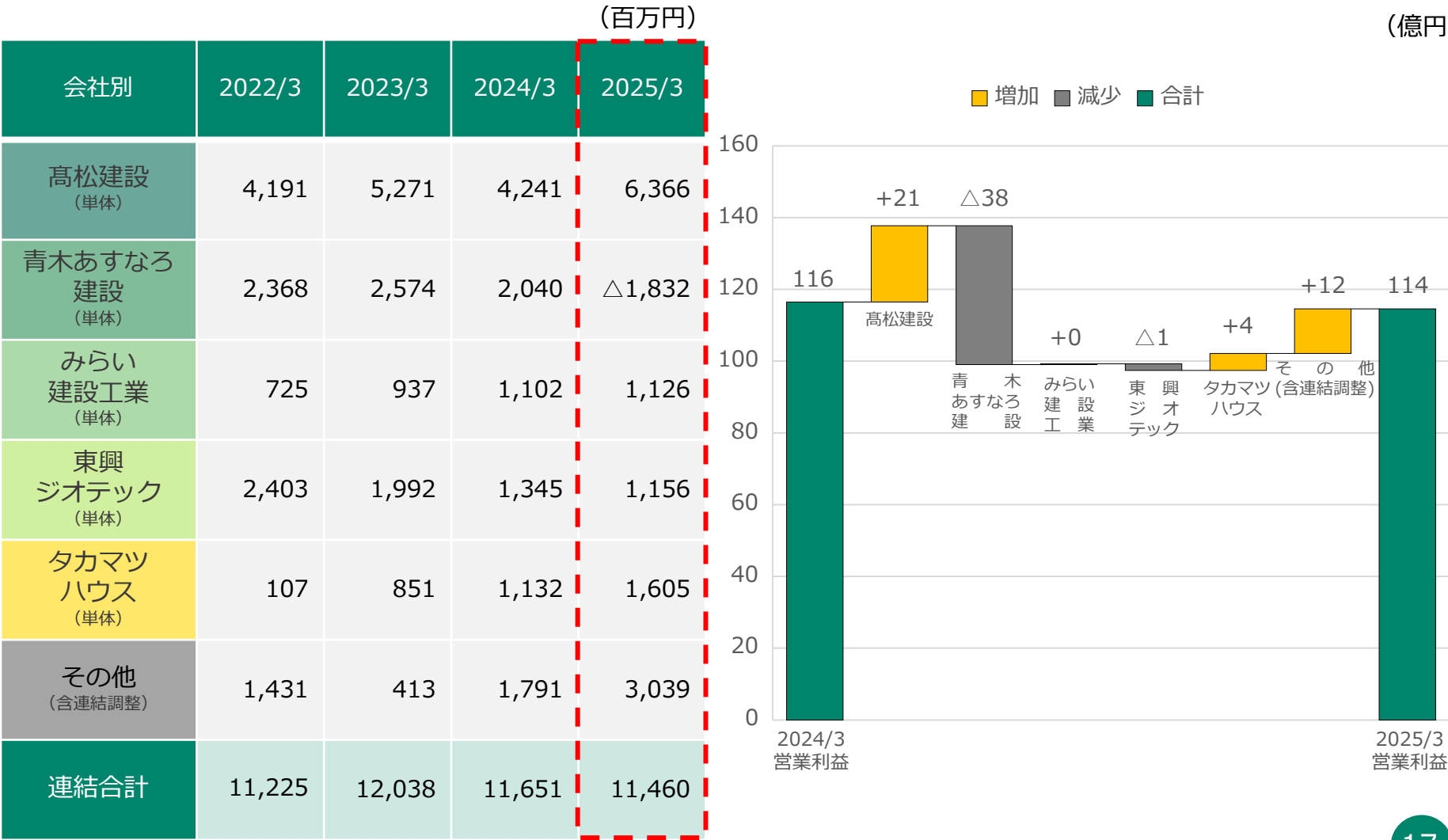
セグメント別	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
建築	5,011	7,035	5,401	3,778
土木	7,297	6,702	6,861	5,876
不動産	3,227	3,761	4,253	7,188
連結調整	△4,311	△5,459	△4,864	△5,383
連結合計	11,225	12,038	11,651	11,460



※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

中核事業会社別 営業利益

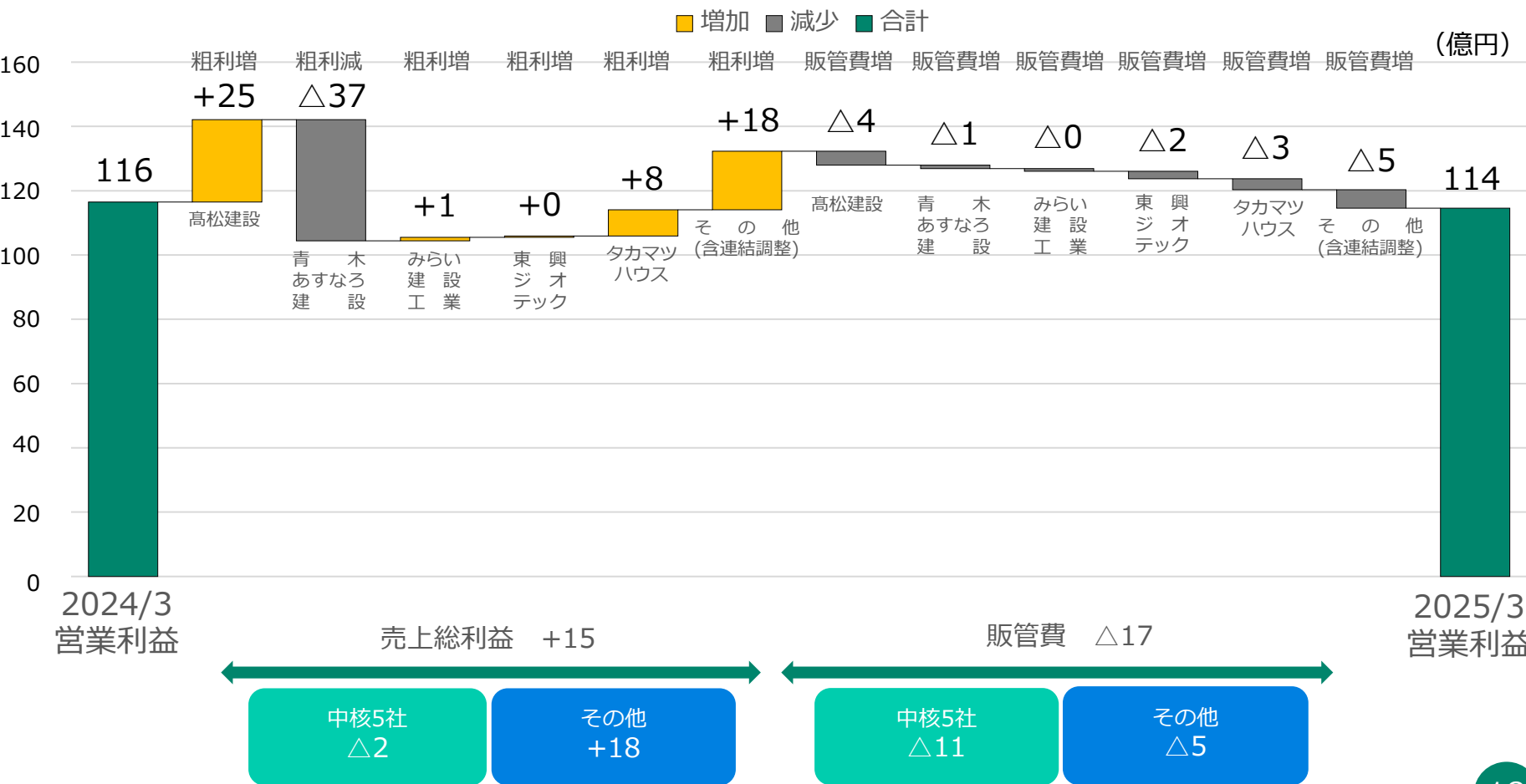
◆ 高松建設は売上高の増加、売上総利益率の上昇により前期比+50.1%と大幅増。青木あすなろ建設は建築での採算悪化等により、18億円の営業赤字。みらい建設工業は前期比+2.2%。東興ジオテックは販管費の増加により前期比△14.1%。タカマツハウスは売上高・売上総利益額の増加により、前期比+41.9%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は主に高松エステートの増加により前期比+69.7%と大幅増。



売上総利益・販管費 営業利益増減分析

- ◆ 売上総利益は青木あすなろ建設の減少を主に高松建設、タカマツハウス、その他中核5社以外のグループ会社の増加で補い、前期比約15億円の増加。
- ◆ 販管費は主に高松建設、タカマツハウス、その他中核5社以外のグループ会社で人件費が増加し、前期比約17億円の増加。
- ◆ 営業利益は全体で前期比約2億円の減少となった。

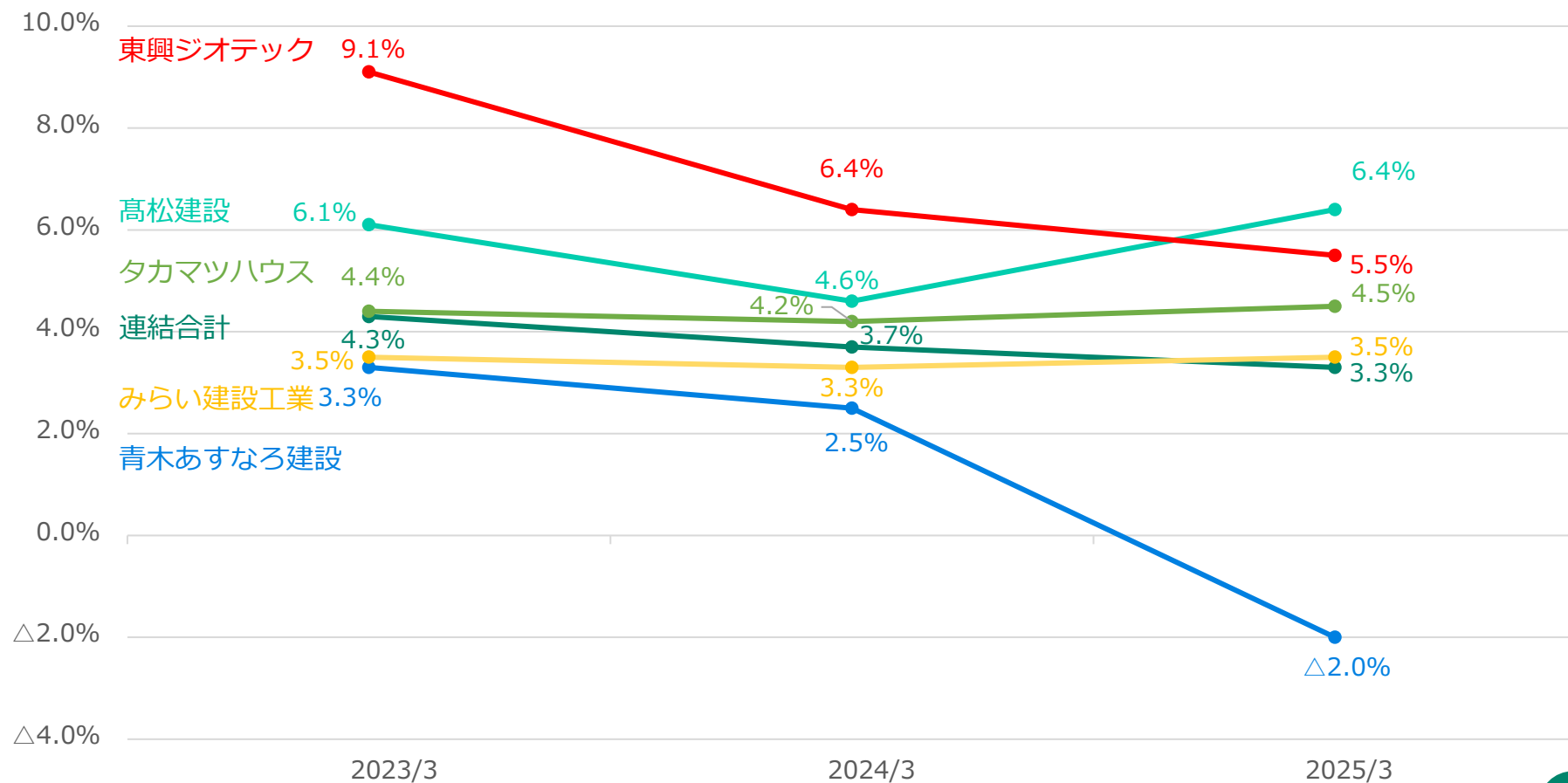
営業利益増減分析



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。
©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設は売上総利益率の上昇により、前期比+1.8pt。
- ◆ 青木あすなろ建設は売上総利益率が大幅に低下したため、前期比△4.5ptと大幅に低下。
- ◆ みらい建設工業は前期比+0.2pt。
- ◆ 東興ジオテックは前期比△0.9pt。
- ◆ タカマツハウスは+0.3pt。



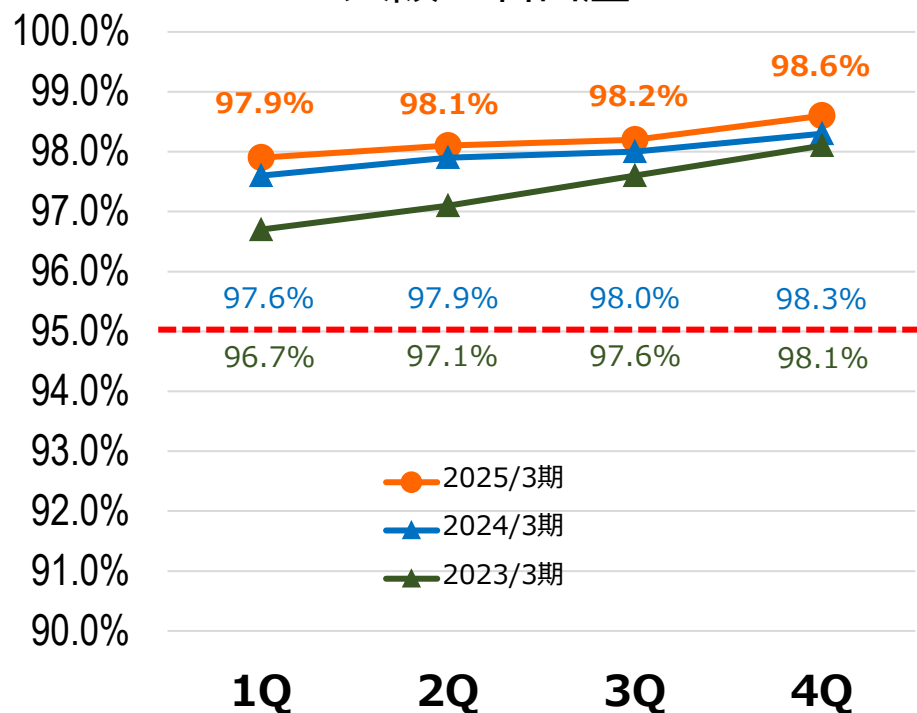
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2025 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

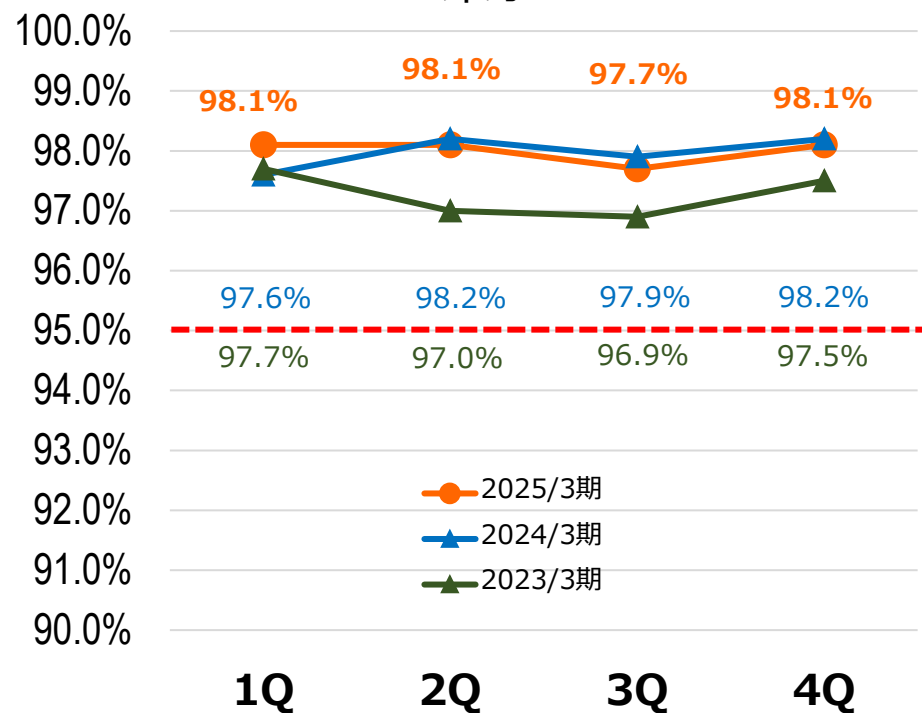
高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は25/3月期も95%以上を維持。

大阪・名古屋



東京



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

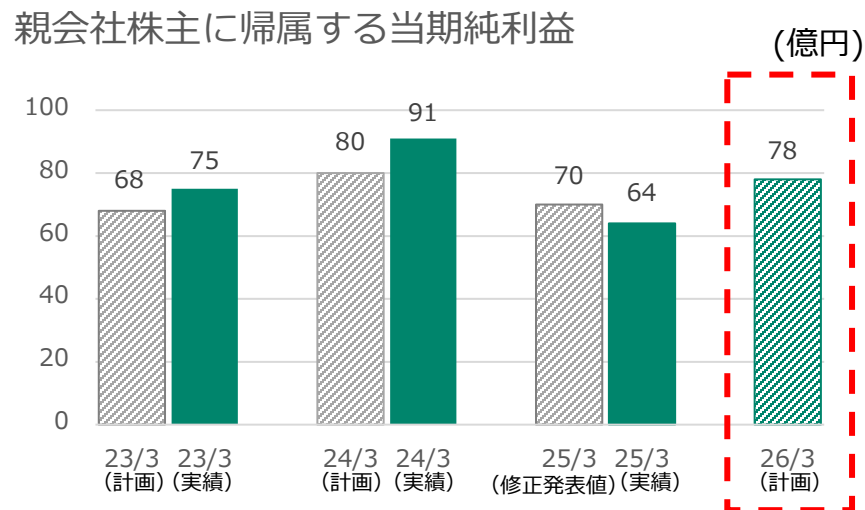
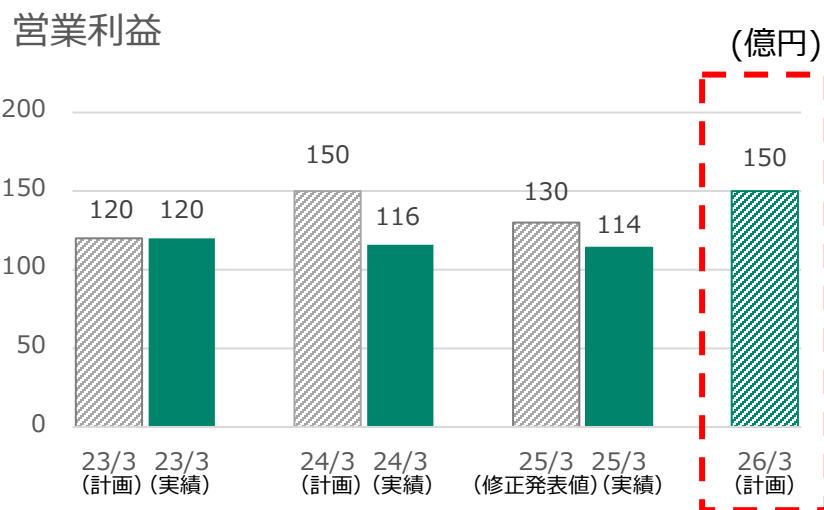
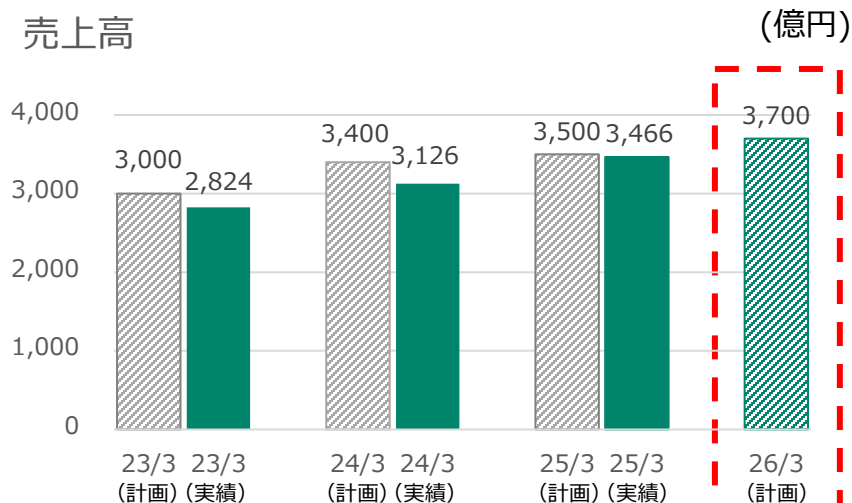
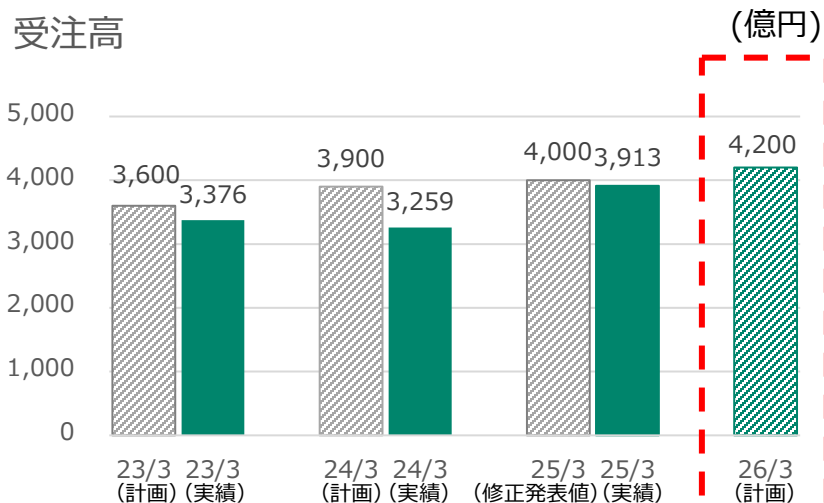
「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2026年3月期 業績予想・配当予想

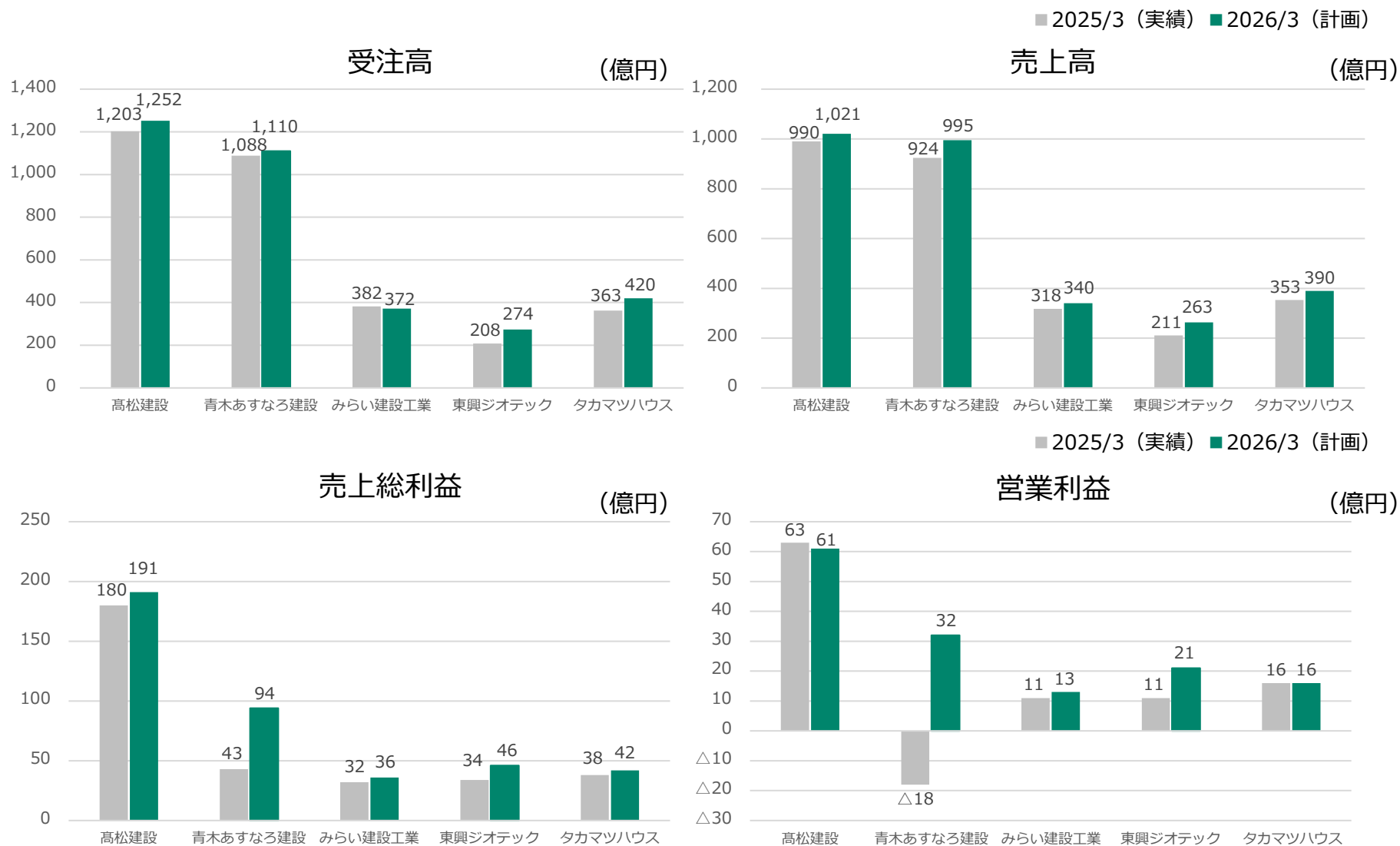
2026年3月期 業績予想

◆ 2026年3月期は、受注高・売上高・営業利益・当期純利益すべての項目で前期を上回る計画。



※25/3修正発表値：2024年11月13日に発表した修正業績発表値

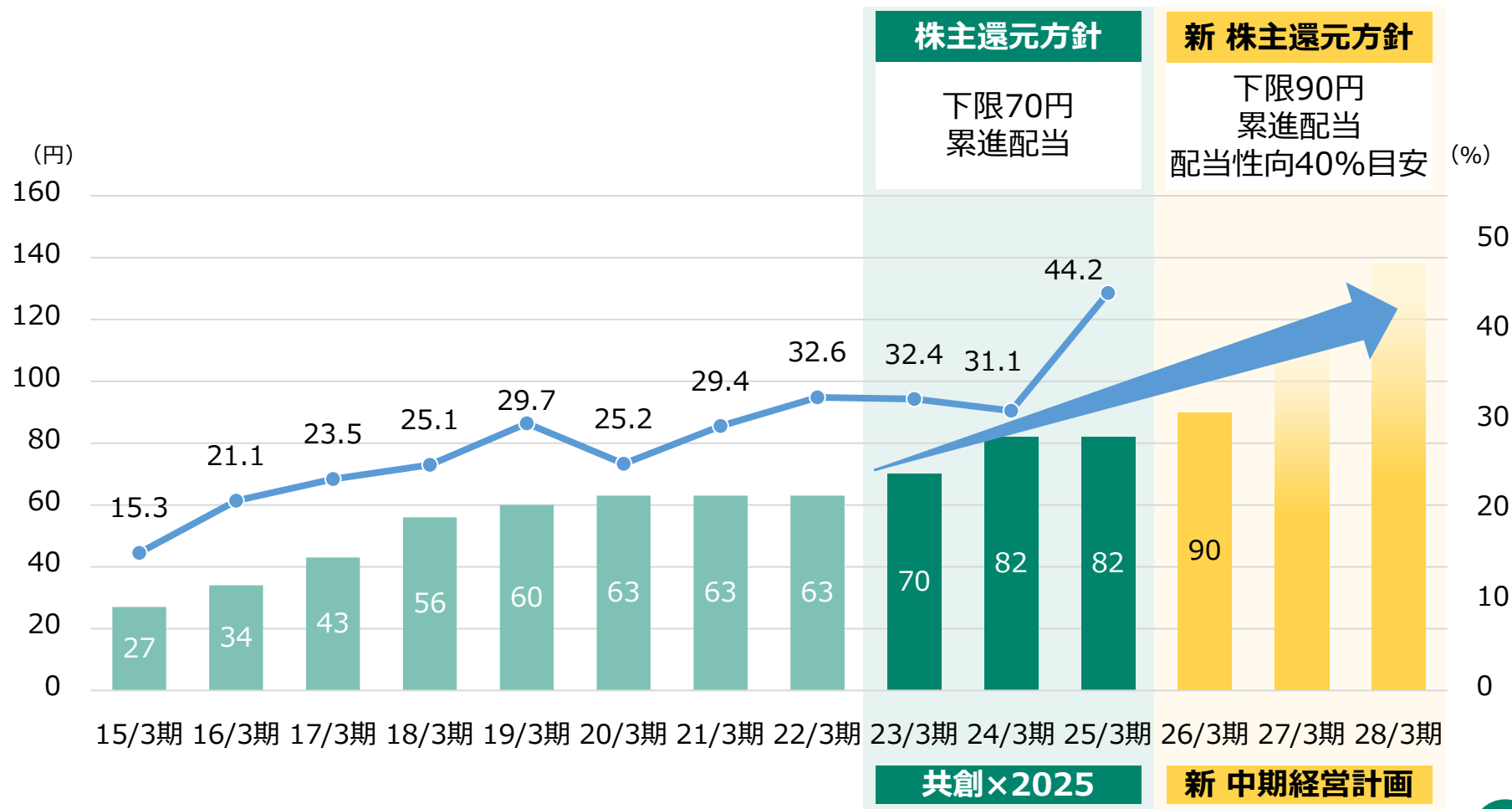
中核事業会社別2025年3月期実績・2026年3月期経営計画



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

2026年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 新・中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の対象年度においては、**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を90円**に設定。
- ◆ **配当性向40%を目安**とし、業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2026年3月期の配当金額は1株当たり90円、配当性向は40.2%を予定。



2026年3月期 業績予想のポイント

2026年3月期 業績予想	受注高・売上高	受注高は、建築セグメント・土木セグメントともに堅調に推移。 売上高は、建築セグメントの高松建設・青木あすなる建設の豊富な手持ち工事を背景に伸長。 土木セグメントについても青木あすなる建設、みらい建設工業とともに堅調な成長を見込み、東興ジオテックについては営業体制強化により復調を目指す。 不動産セグメントの木造戸建住宅事業については、景気の不透明感を背景とした国内市場全体での住宅購入に対する様子見傾向の高まりは予想されるものの、首都圏人気エリアに関しては販売価格高騰の影響を上回る高い需要が継続すると想定し、引き続き成長を見込む。
	営業利益	営業利益は、青木あすなる建設の建築セグメントにおける反動増の影響が大きい。東興ジオテックについては復調の計画。 高松建設、みらい建設工業、タカマツハウスについては堅調を予想。

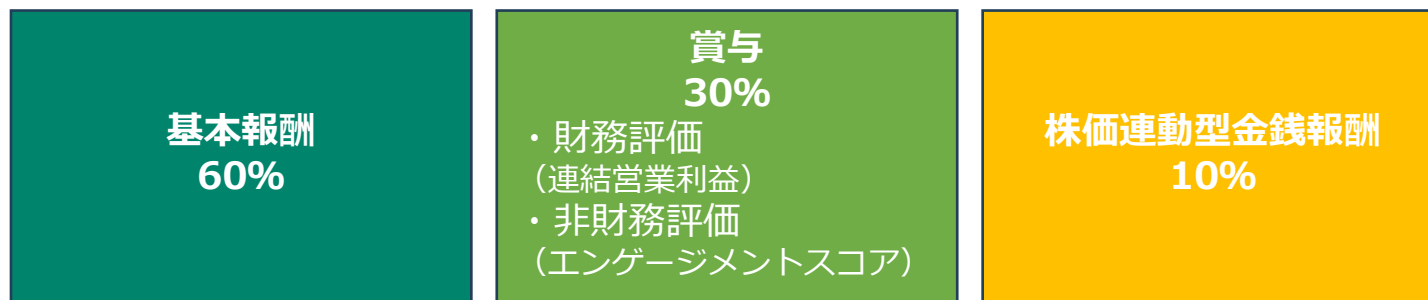
トピックス

トピックス1

◆ 高松コンストラクショングループ

○ 株価連動型役員報酬導入へ

当社取締役（除く：社外取締役および非業務執行取締役）を対象とした株価連動型金銭報酬制度の導入を、2025年6月開催予定の定時株主総会で付議する予定。本制度は当社グループの主要子会社社長に対しても導入を予定している。



① 株価連動型金銭報酬

原則として、役職ごとに定められた基準額に応じた株式数に相当するポイントを付与し、中期経営計画に対応する事業年度の期間累積する。対象期間が終了した次の事業年度の7月に、累積ポイント数に相当する株数に対象期間終了時または支給時の所定の株価を乗じた金額を支払う。

② 決定プロセス

基本報酬に賞与と株価連動型金銭報酬を加算した報酬額について、取締役会で定めた各報酬制度の規程にもとづき、報酬額が相当かどうかを検討したうえで、代表取締役社長に決定を一任。代表取締役社長が取締役会から権限の委任を受けたうえで、独立社外取締役を委員長とし、独立社外取締役のみで構成される指名報酬委員会と協議し、最終決定する。

トピックス2-1

◆ 高松グループ令和6年能登半島地震受注案件一覧（第4四半期時点）

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。高松グループは一丸となって被災地の一日も早い復旧・復興に尽力してまいります。

以下、当社グループでの取り組みについて、今期第4四半期に受注した工事をご紹介します。

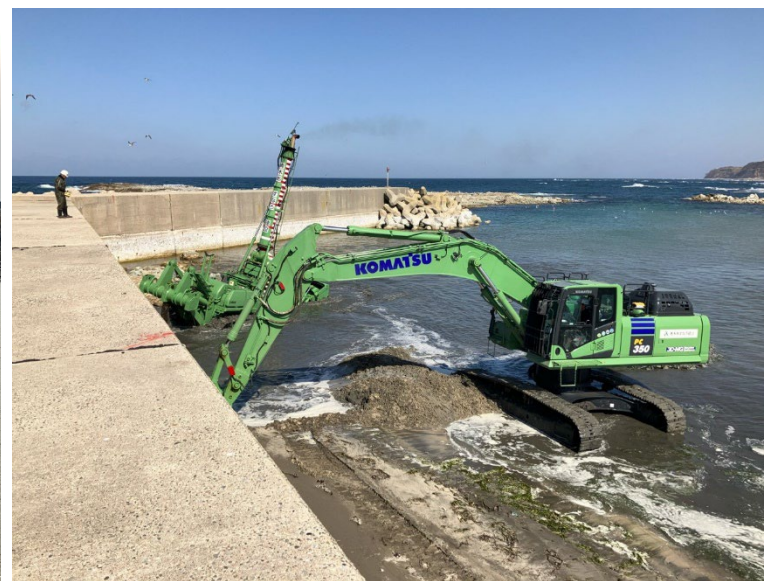
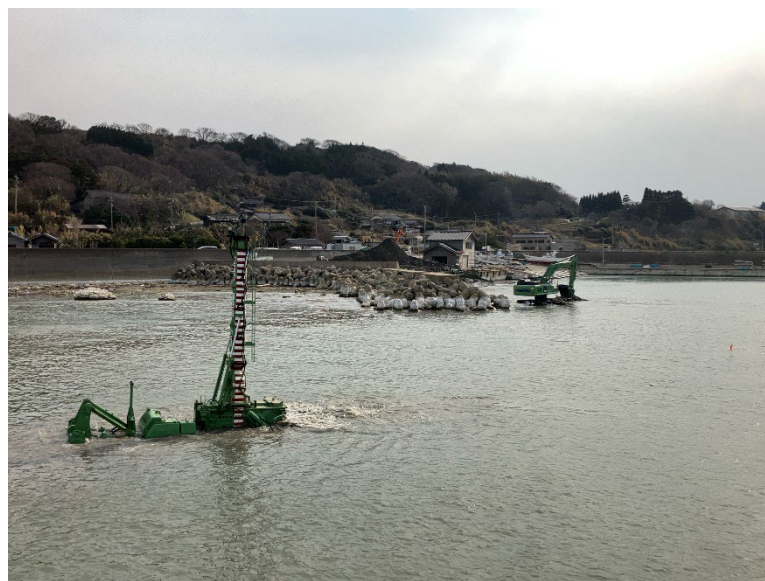
○青木あすなろ建設

（百万円）

案件名	工事場所	発注者	請負金額	工期
6 災狼煙漁港（折戸地区） 災害復旧工事（応急本工事）	石川県珠洲市折戸地先	株式会社喜多組	25	2025年3月3日から 2025年6月30日まで

工事内容

能登半島地震で地盤が約1.2m隆起し泊地が浅くなったことで漁船の出入不能となったことから、応急復旧により浚渫を行い、泊地の水深を確保するもの。浚渫工事は主に水陸両用ブルドーザで掘削押土、水陸両用バックホウで掘削積込、水陸両用クローラダンプで土砂集積場まで運搬する。



トピックス2-2

◆ 高松グループ令和6年能登半島地震受注案件一覧（第4四半期時点）

○ 東興ジオテック

（百万円）

案件名	工事場所	発注者	請負金額	工期
R6 249号輪島地区法面 復旧その8工事	石川県輪島市門前町浦上地先	株式会社宮地組	104※	2024年11月18日から 2026年3月6日

工事内容

能登半島地震で被災した国道249号線(輪島市門前地区)の斜面对策工事を施工するもの。

※2024年11月に99百万円、2025年3月（今回）増額で104百万円の受注。総額203百万円。



本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。